経験の浅い担当者でも最適な求人提案を実現するAIレコメンドシステム構築事例

Vertex AI Searchを活用した、3週間での事業課題解決アプローチ

bloom株式会社

NotebookLM

AI導入がもたらす、求人提案業務の標準化と品質向上

課題 (Challenge)



キャリアアドバイザーの経験値への依存と、それに伴う提案品品質のばらつきが、サービスレベルの安定化を阻害。

解決策 (Solution)



職務経歴書を基にAIが網羅的に求人候補を提示し、アドバイザーの視野を拡張するレコメンドシステムを構築。

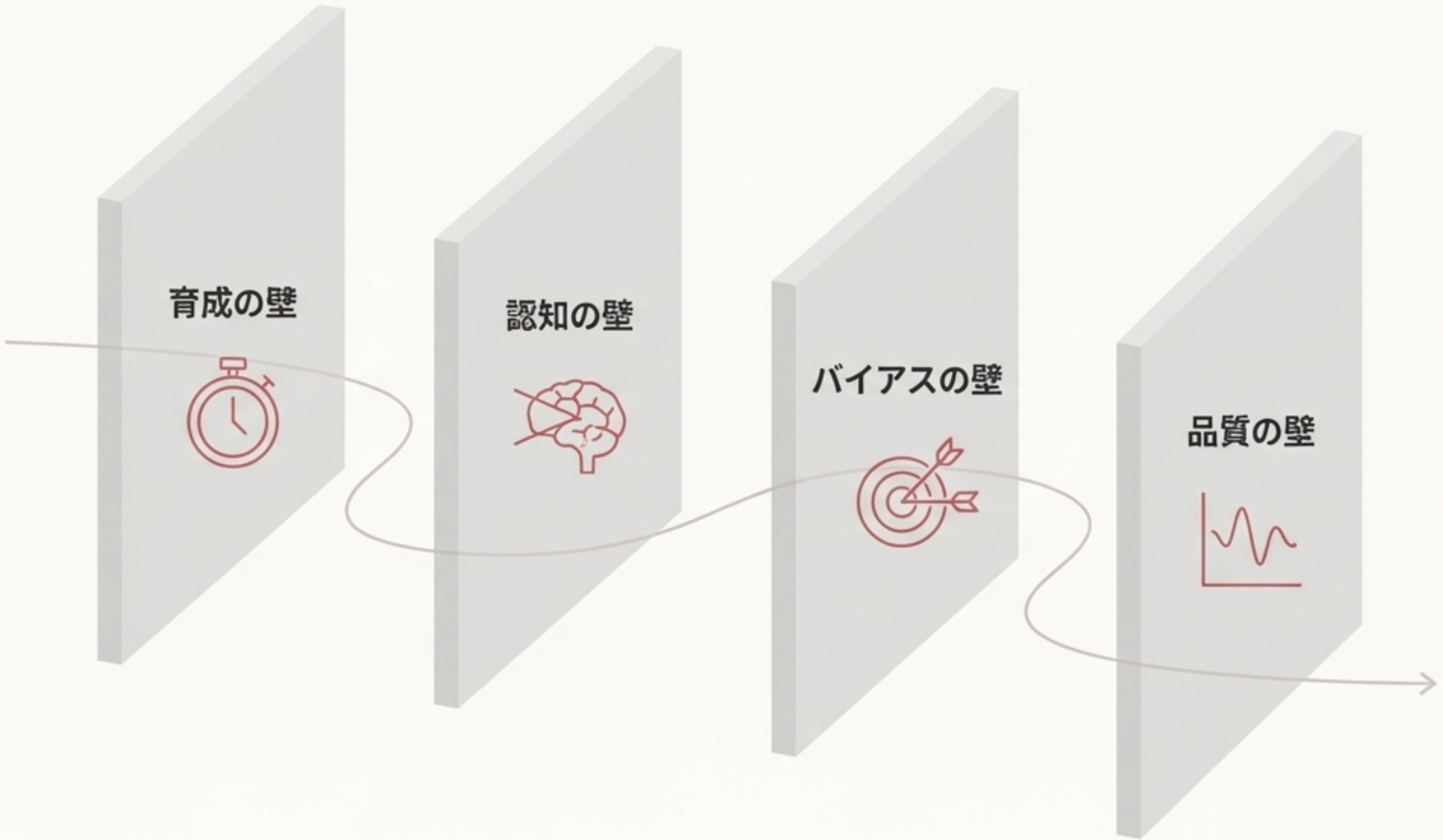
成果 (Impact)



提案の幅が拡大し、属人化を解消。新人育成にも貢献し、組織全体のサービス品質を底上げ。

NotebookLM

属人化がもたらす、構造的な「4つの壁」



育成の壁 (Training Barrier)
新メンバーが一人前になるまでの時間と、ベテランとの提案品質の差が大きい。

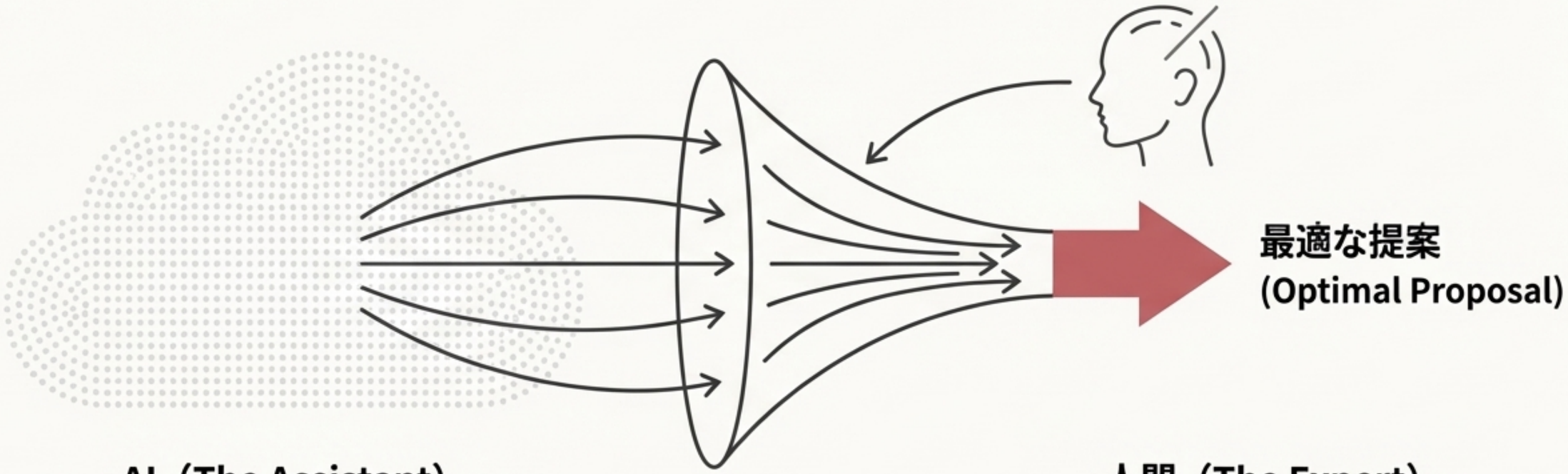
認知の壁 (Cognitive Barrier)
数千件に上る膨大な求人情報をアドバイザー個人が把握しきれず、提案に抜け漏れが発生。

バイアスの壁 (Bias Barrier)
経験豊富なメンバーですら、無意識に「よく知っている求人」に提案が偏る傾向。

品質の壁 (Quality Barrier)
担当者によって求職者が受け取るサービスの質が変動し、ブランドとしての一貫性が損なわれる。

NotebookLM

AIの役割は「判断の代替」ではなく「視野の拡張」



AI（The Assistant）

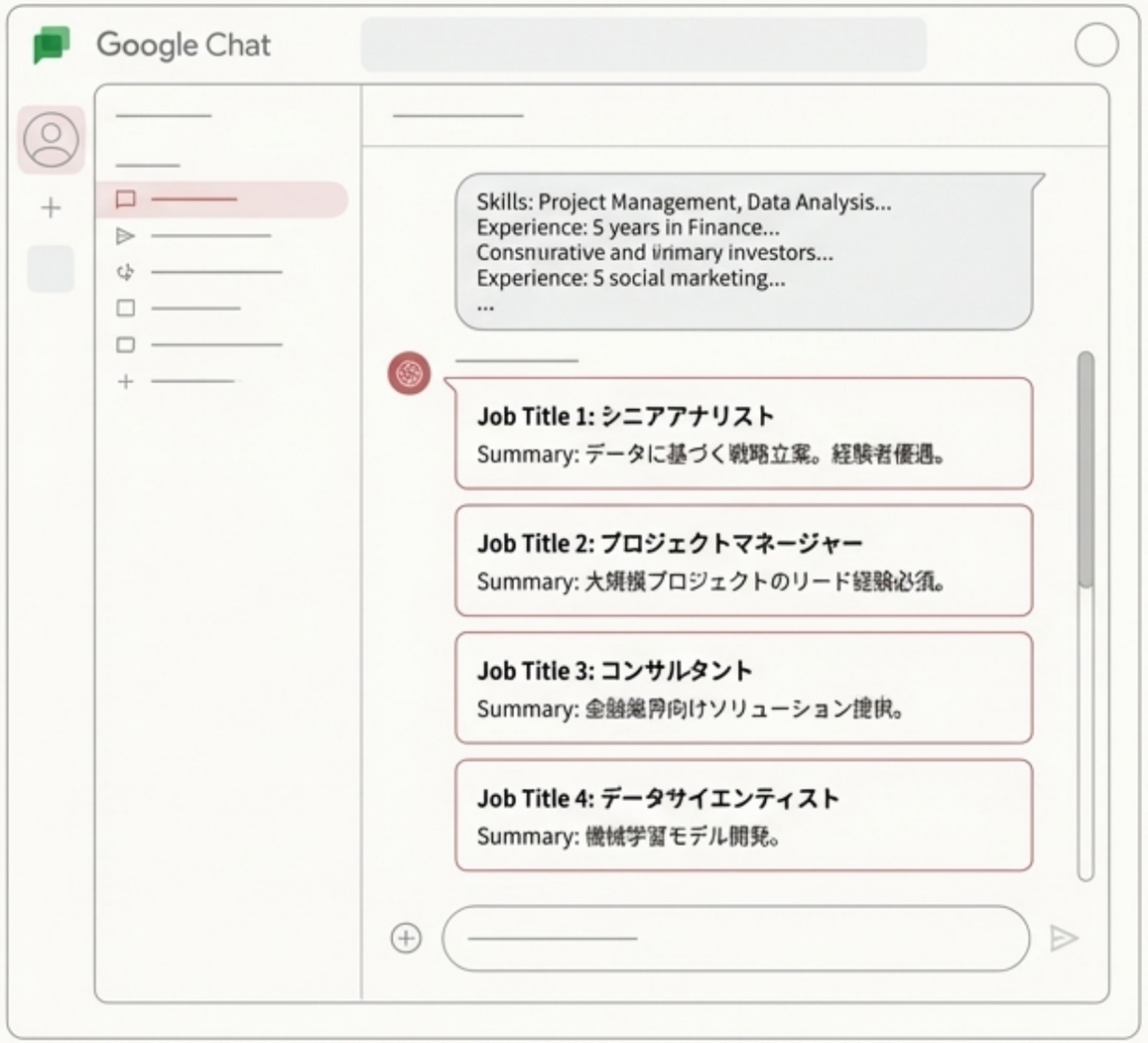
数千件の求人から「検討に値する候補」
を網羅的に抽出し、見落としを防ぐ。

人間（The Expert）

AIが提示した多様な選択肢を基に、
求職者との対話を通じて最適な求人を
最終判断する。

NotebookLM

業務フローに溶け込む、徹底したユーザー中心設計



利用環境 (Environment)

普段使いのGoogle Chatから直接操作。専用ツールの起動は不要で、業務を中断させない。

運用方法 (Operation)

チームの公開チャットで運用。他のメンバーの利用方法が自然と共有され、利用ノハウが組織に蓄積される。

設計思想 (Design Philosophy)

意図的に多くの選択肢(20-30件)を提示。AIの答えに思考を限定させず、新たな気づきを促す「きっかけ」を提供する。

NotebookLM

Vertex AIを核とした、高精度・短納期な技術アーキテクチャ



Vertex AI Search

ベクトル検索（意味）とキーワード検索（単語）のハイブリッドにより、表記揺れを吸収しつつ、専門用語にも対応した高精度マッチングを実現。



Data Structuring & Summarization

求人票のフォーマットを構造化し、AIで要約を自動生成。データ品質を均一化し、検索精度を最大化。



Gemini Prompt Tuning

検索クエリ生成をGeminiのプロンプトで制御。検索エンジン本体を直接改修せず、開発工数を抑えながら業務に最適化。



Privacy by Design

氏名・連絡先などの個人情報を処理前に完全に除去。スキル・経歴情報のみを利用し、セキュリティとプライバシーを担保。

NotebookLM

PoCレスで実現した「3週間の本番稼働」という意思決定

Core Principle

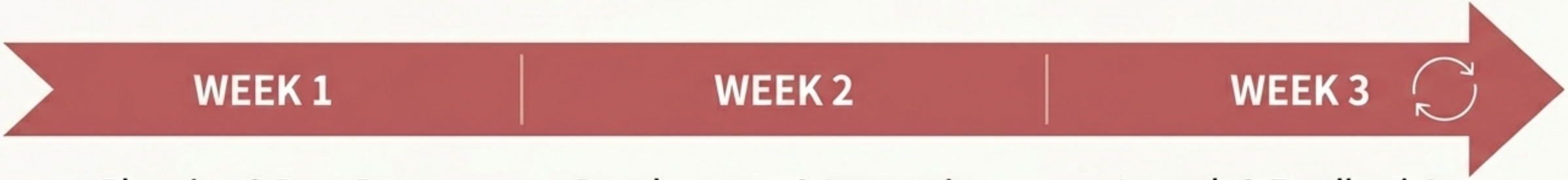
完璧を目指すより「まず使ってもらう」ことを最優先。

Strategic Rationale

Vertex AI Searchの基礎品質への信頼から、性能検証に時間をかけるとより実データでの改善が効率的と判断。

Development Process

アジャイル開発：小さく始めて、現場のフィードバックを元に継続的に改善するサイクルを構築。



NotebookLM

「そもそも知らなかった企業を紹介できた」— 現場から寄せられた変革の声



新人アドバイザー

”自分一人では到底見つけられなかった求人を提案でき、求職者からの信頼を得られた。”



ベテランアドバイザー

”提案の幅が確実に広がり、自分の知識の偏りに気づかされた。新たな可能性を発見できた。”



組織全体

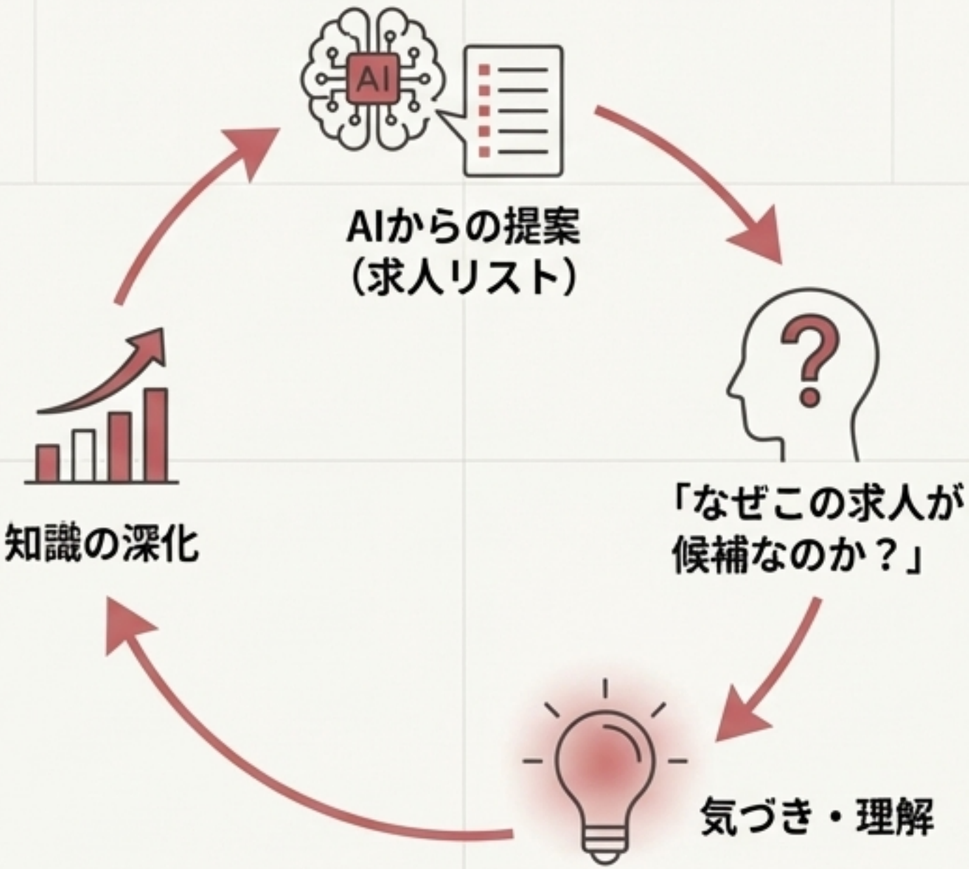
提案品質のばらつきが減少し、サービスレベルが向上。誰が担当しても高水準の提案が可能に。

NotebookLM

副次的効果：AIが新人の「学び」を加速させる実践的OJTツールに

Mechanism of Learning

AIが提示した多様な候補を見ることで、求人知識や業界理解が自然と深まる。



Practical Training

「なぜこの求人が候補なのか？」を自ら考えるプロセスが、求職者のスキルと求人の関係性を学ぶ絶好の訓練となる。

Outcome

育成期間の短縮と、新メンバーの早期戦力化に貢献。

NotebookLM

次のステップ：求人発見の先にある「企業理解の深化」へ

新たに見えた課題（Newly Identified Challenge）：
求人は見つかるが、知らない企業を自信を持って推薦するのが難しい。



現在地: 求人発見

展望①: 求人検索アプリへのシームレスな導線設計

チャットのレコメンド結果から求人アプリに連携し、一覧性・比較検討のしやすさを向上させる。

展望②: 企業理解を深める情報提供機能

AIが推薦した企業について、その魅力や特徴を補足する情報をシステムに組み込み、提案の質をさらに高める。

NotebookLM

本プロジェクトから得られた、AI導入を成功に導く3つの要諦

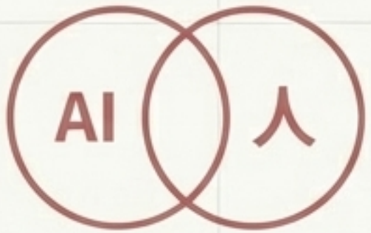
1



業務への統合（Integration into Workflow）

日常ツール(Google Chat)に組み込み、利用のハードルを極限まで下げる。行動変容を促す鍵は「手軽さ」にある。

2



明確な役割分担（Clear Division of Roles）

AIは「候補出し」、人は「最終判断」という役割を徹底する。現場の専門性を尊重し、納得感を醸成することが不可欠。

3



Speed & Iteration（スピードと反復）

完璧を求めず、短期間で価値を届け、現場と共に改善を続ける。早期の価値提供がプロジェクトの推進力を生む。

NotebookLM

ご清聴ありがとうございました

bloom株式会社

NotebookLM